

# 育成！ ふるさと小浜デザイン

夢と希望をもって生活できる社会の実現に向けて

正月にチャンネルOで放送した市広報企画番組から抜粋して掲載しています



**新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、予測困難な時代・社会に突入した令和2年。北陸新幹線全線開業に向け、新まちづくり構想を策定した今、地域づくり・魅力あるまちづくりについて、松崎市長が語る――**

私は就任4期目の公約として「育成！ふるさと小浜デザイン」を掲げ、①「産業／経営力＆発信力を拡大」、②「環境文化 観光／組み合わせ、魅力増」、③「子育て 教育環境／少子化対策と共生」、④「新型コロナウイルス感染症対策／防止と支援」、⑤「生活 防災／保健・医療・交通、快適便利」、⑥「未来に夢・生きがい・協働」の6つを柱にして、各種施策を進めています。

## 産業／経営力＆発信力を拡大

企業誘致について、昨年10月には、株式会社悠晴（東京都）が飯盛で植物工場の操業を開始し、13人の雇用を創出しました。また、竜前企業団地には、新たに2社の進出がありました。

また、北陸新幹線敦賀開業を見据え、食による交流人口を拡大し、効果を農林水産業に波及させるため、現在、道の駅に隣接する旧四季菜館を、地元農産物を活用するレストランに改修しており、今年中にオープンする予定です。水産業の振興については、昨年は「鯖、復活」プロジェクトの民間移行2年目となる年で、インターネット通

販を活用した新たな販路の開拓や加工品の開発に加え、小浜よっぱらいサバとしては初の輸出となる香港への出荷を行うことができました。

また志積では、昨年、新鮮な食材や自然を生かした「海のオーベルジュ志積」がオープンしました。



宿泊棟とレストランで構成される複合施設「海のオーベルジュ志積」

移住・定住については、来年度から、関西を中心とした大学生を受け入れ、地域住民と協働で地域滞在型の活動に取り組み「Rキャン事業」を実施し、市外に住みながら、地域の人々と多様に関わる「関係人口」を増やし、地域の活性化を促したいと考えています。

## 環境文化観光／組み合わせ、魅力増

まちの駅は、昨年8月にリニューアル

大手橋・西津橋の整備については、昨年から多田川に架かる城内橋の工事に着手されるなど、本格的な工事に向けて着実に前進しています。

舞鶴若狭自動車道の4車線化については、舞鶴東ICから小浜西IC間において付加車線設置の事業に着手され、舞鶴東ICから若狭上中IC間、三方五湖スマートICから若狭三方IC間が優先整備区間に選定されるなど、着実に前進しています。

## 未来に夢・生きがい・協働

ごみ焼却施設と斎場については、本市と近隣3町で構成する「若狭広域行政事務組合」を事業主体とし、施設の広域化に取り組んでいます。ごみ焼却場は令和4年度末、斎場は令和6年度中の完成を目指しています。

北陸新幹線全線開業の実現は、本市の発展可能性を大きく広げる500年に一度のビッグチャンスと言えるものです。現在、全線開業に向けて敦賀・新大阪間で順次、駅・ルートの選定に向けた環境アセスメントの手続きが、令和4年度までの予定で進められているところ。さらに、今年の秋以降には、新駅の具体的な位置などが明らかになると想定されています。

また、全線開業を見据えた将来の小浜のまちづくりについては、昨年6月

に策定した「小浜市新まちづくり構想」に掲げた「スマート&スロースティ」の実現に向け、オール小浜で取り組んでいきます。

## 今後の抱負

新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えず、今までの常識や経験で対応できない厳しい時代ではあります。北陸新幹線全線開業後の小浜のまちをデザインする大変重要な時期であると考えています。一刻も早い全線開業に向け、市民の皆さん一人ひとりの力を得て、取り組みを進めていきます。加えて、今年是小浜市が誕生して、70年という節目の年でもあります。市民の皆さんが夢と希望をもって、生活できる社会の実現に向け、全力で取り組んでいきます。



今富小学校児童が開発した「サバまん」には、サバや地元産の野菜が使われている

## 新型コロナウイルス感染症対策／防止と支援

感染防止対策としては、感染状況に応じた情報や予防の仕方について、適宜、防災行政無線や市公式HPなどを通して届けています。

支援としては、外出を控える生活の中で、生活習慣病につながる運動不足

を解消していただくこと、「メタボン退治ウォーキング」を実施しました。また、子育て世帯に5千円分のテイクアウト用食事を配ったほか、市内の学校を卒業し、市外でがんばっている若者の皆さんには、本市の特産品とマスクを届けました。

さらに、産業全体の活性化のため、地域商品券「おばまチケット」を販売しました。今後、アンテナを高くして、商工会議所、金融機関、あらゆる産業に携わる皆さんとともに、市内の経済の活性化に努めていきます。

## 生活 防災／保健・医療・交通、快適便利

「自助」、「共助」の活動がますます重要となる中、昨年、市内在住または市内に勤める防災士資格を持つ皆さんが、「小浜市防災士の会」を設立しました。今年、これまでの取り組みに加え、同会と連携した取り組みも進め、地域全体の防災力の強化・向上につなげていきたいと考えています。

健康管理センターのリニューアルについては、来年度からいよいよ建設工事に入る予定です。保健・福祉サービスの充実を図り、市民一人ひとりが、健康でいきいきと暮らすことができるよう、令和5年度の供用開始を目指し整備に取り組んでいきます。



聞き手／北村 郁子 アナウンサー（チャンネルO・12月16日）